



大分県ワンストップ窓口

大分県介護DXサポートセンターの取組紹介

社会福祉法人 大分県社会福祉協議会
大分県介護DXサポートセンター アドバイザー 小原裕一

大分県介護DXサポートセンターの紹介

『大分県内介護事業所の“生産性向上を支援する”ワンストップ窓口』

※ワンストップ窓口：何でも相談できる窓口

運営

社会福祉法人 大分県社会福祉協議会

大分県社会福祉介護研修センター 介護ロボット普及推進班

体制

アドバイザー **3名** (PT1名、OT1名、専門員1名)

事務・管理スタッフ：**3名** 合計**6名**体制

特徴

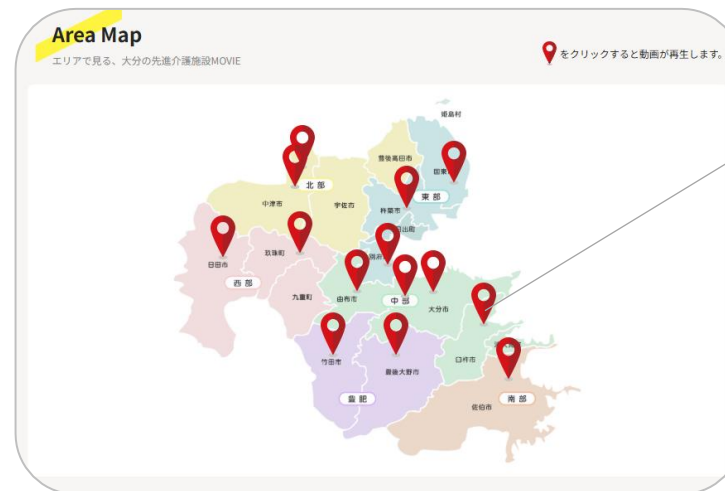
1. 大分県モデル事業所の創出

※介護テクノロジー＋ノーリフティングケアを利活用している事業所

2. モデル事業所動画の制作 (<https://kaigoswitch.com/>)

※3月末に居宅系事業所動画、KAIGOSWITCH SPECIAL掲載

3. 介護テクノロジー約50点、福祉用具約1,700点展示



KAIGO SWITCH Vol.4 四季の郷



まずはこちら！

相談窓口



生産性向上に関して、何でも
ご相談ください

改善活動を前進させたい方
はこちら！

伴走支援



組織開発、課題整理から実践
まで伴走で進める支援

研修

生産性向上の考え方、実践方法の共有



他機関との連携

経営支援等、外部機関への紹介

体験展示

導入、活用に向けた比較検討



試用貸出

現場での適合性確認

生産性向上ガイドライン

施設サービス

介護サービス事業（施設サービス等）における
生産性向上に資するガイドライン

施設・事業所向け手引き

より良い職場・サービスのために
今日からできること
（業務改善の手引き）パイロット事業令和2年度版

厚生労働省老健局



居宅サービス

居宅サービス等

介護サービス事業における
生産性向上に資する
ガイドライン 改訂版

介護の価値向上につながる
職場の作り方

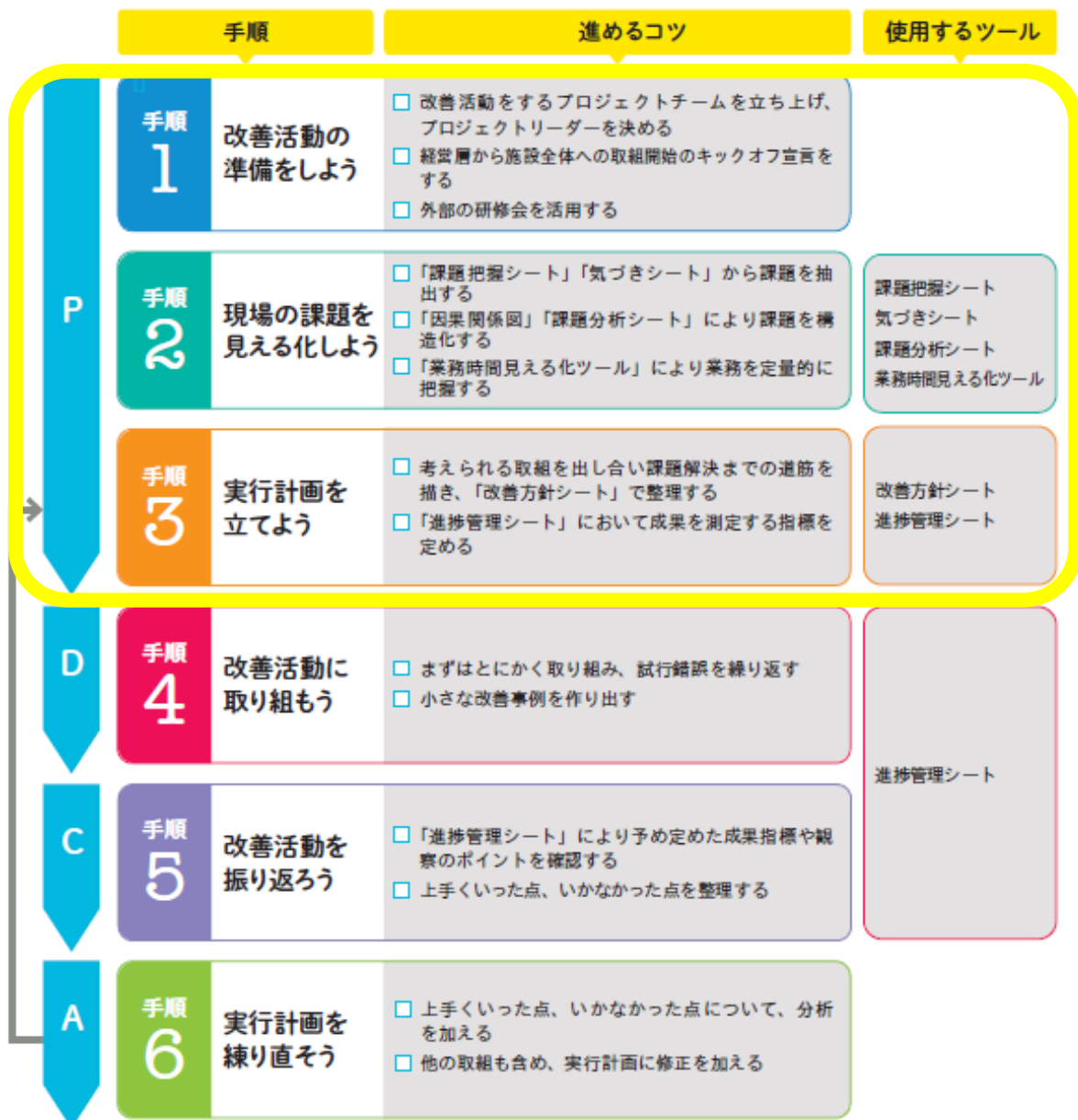
厚生労働省老健局



（出典）厚生労働省ホームページ介護分野における生産性向上について
<https://www.mhlw.go.jp/stf/kaigo-seisansei-information.html>

（出典）介護ロボット等のパッケージ導入モデル（改訂版）～介護ロボット取組事例集～
<https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/001491486.pdf>

生産性向上のポイント



生産性向上を
成功に導くポイント

改善活動が「止まらない仕組みづくり」
(組織マネジメント、人材育成など)

PLAN 8割!!!

支援中に聞かれる相談内容

<PLAN>

取組開始前

相談：何をしてもよいかわからない

- ✓ 目指すべき姿が不明確
- ✓ 解決すべき課題が不明確

<PLAN>

改善計画

相談：「いつ、だれが、なにを、どのように」等の計画が立てられない

- ✓ 機器の選定方法がわからない
- ✓ KPIの設定の仕方がわからない

<DO>

改善活動

相談：「成果が出ない」

- ✓ 導入した機器が上手く使えない
- ✓ 活動自体に反対する職員が多い

改善活動が止まってしまう

- ・ 活動が継続できない、経験が蓄積できない
- ・ 再び動き出すことが難しくなってしまう



伴走支援の流れ

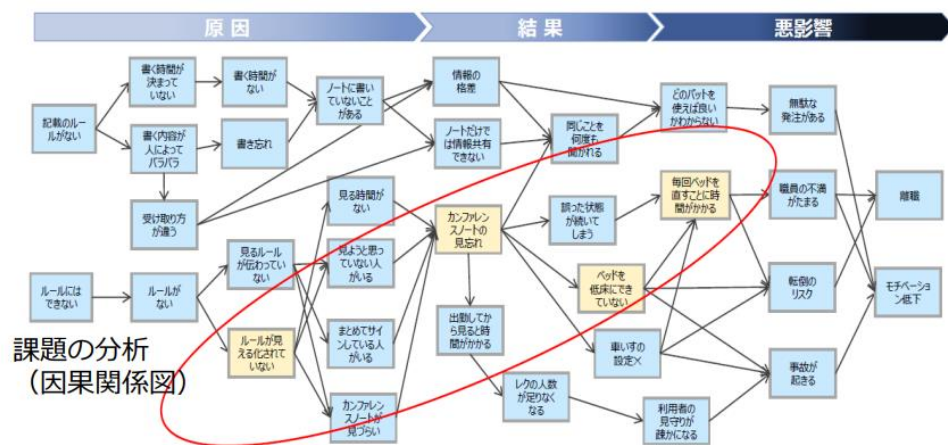
目的の設定/プロジェクトチーム作り



改善活動の計画書作成

改善プロセス		期間	所要日数	実施事項・具体的なアクション	2022年					
					実施月	6月	7月	8月	9月	10月
改善活動の準備をしよう	担当者体制を構築しよう									
現場の問題を見える化しよう	情報の取捨整理 改善活動の具体化をしよう									
実行計画を立てよう	担当の決定・業務改善担当の確定 実施体制の体制の構築をしよう									

課題の見える化



改善活動の実践支援

① 職場環境の整備

取組前 → 取組後

② 業務の明確化と役割分担 (1) 業務全体の流れを再構築

介護職の業務が明確化されていない

業務を明確化し、適切な役割分担を行いケアの質を向上

③ 手順書の作成

職員によって異なる申し送り

申し送りを標準化

④ 記録・報告様式の工夫

帳票に何度も転記

タブレット端末やスマートフォンによるデータ入力 (音声入力含む) とデータ共有

⑤ 情報共有の工夫

活動している職員に対してそれぞれ指示

インカムを利用したタイムリーな情報共有

⑥ OJTの仕組みづくり

職員の教え方にブレがある

教育内容と指導方法を統一

⑦ 理念・行動指針の徹底

イレギュラーな事態が起こると職員が自身で判断できない

組織の理念や行動指針に基づいた自律的な行動

各事業所の状況に寄り添った支援を行います

伴走支援の結果

特別養護老人ホーム若葉苑さま（導入から2カ月後）

見守りシステム

- ・巡回時間 **120分/日短縮**（導入前150分/日→導入後30分/日）
- ・直接業務時間延長 **ケアの質向上**（食事介助64分/日増加 排泄介助74分/日増加）

特別養護老人ホーム鈴鳴荘さま（導入から6カ月後）

インカム

- ・一人当たり**10分/日の削減効果**（例）25名のスタッフ稼働により**250分/日**の創出効果

特別養護老人ホームいずみの園さま（導入から1年後）

見守りシステム

- ・夜勤の定期巡回ゼロを達成 **227分/日短縮**
- ・夜勤帯における休憩時間、記録作業時間など **183分/日確保**

伴走支援の感想（事業所の声）

- はじめに目指すべき姿、ビジョンを設定したおかげで、活動が実を結んでいく経過を実感できた
- 課題の見える化をすることにより、自分たちの手で少しずつだが改善活動を進めることができた
- チームでの計画立案、実行し、多職種で達成感を味わうことができた
- 職員の意欲向上につながった
- 改善意識の高かったリーダー職員が成長し、改善活動が進んだ。人材の重要性を再確認した（経営層より）
- 県のアドバイザーの方々との交流は、リーダーにとって大変心強く、気持ちがブレることなく、自信をもって取り組んでいる姿に、介護職員は付いていきやすかったとの声があった。伴走型支援に感謝しています

**伴走支援では「自立・自走」での改善活動継続に向けて、
人材育成、チーム作りを支援します！**

相談件数

令和7年度 相談件数 (R7年4月～R8年1月)

サービス種別	延べ件数
介護老人福祉施設	164
介護老人保健施設	81
有料老人ホーム	24
認知症対応型共同生活介護	22
通所リハビリテーション	18
居宅介護支援	17
通所介護	11
養護老人ホーム	9
訪問介護	6
介護医療院	5
シーズ（メーカー）	30
その他	30
計	417

※別途補助金の事前相談（改善活動の計画書）200件以上

相談のきっかけ 『人材確保』

- 活用できる補助金について
- 自施設に合う介護テクノロジーが分からない
- 生産性向上の進め方が分からない



研修会

生産性向上の考え方、実践方法の共有

①介護生産性向上研修（2回/年）

- ・ 第1回 R7.5.8 303名 ※補助金要件
- ・ 第2回 R8.2.5 145名

②圏域別：介護生産性向上セミナー

- ・ 6圏域、各モデル事業所で開催 計115名
- ・ 研修概要：モデル事業所事例発表、施設見学、生産性向上ミニセミナー、因果関係図作りワークショップ

③伴走支援者養成研修（2日間）

- ・ 令和7年度プレ開催
- ・ 9名の伴走支援者（KAIGO生産性向上パートナー）を育成



体験展示場

導入、活用に向けた比較検討

1階福祉用具展示場に設置

※福祉用具 約1,700点

※介護テクノロジー 50点

- ・アドバイザーによる製品紹介
- ・デモンストレーション環境あり

いずれも日本最大級！



試用貸出

現場での適合性確認

- ・介護事業所は「無償」で「2週間～1か月」レンタル可能
- ・貸出メーカーに謝金あり



ご清聴ありがとうございました

【お問い合わせ先】

大分県社会福祉介護研修センター 介護実習・普及部 担当：小原（こぼる）、塩田

TEL：097-574-4571(直通) Mail：oita-kaigorobot@okk.or.jp

大分県介護DXサポートセンター （相談受付フォーム、支援概要はこちら）

HP：<https://oita-kaigorobot.com/>



大分県モデル事業所等紹介

HP：<https://kaigoswitch.com/>

